

用途ラベル：名乗りで止まる瞬間

印象の空白

現状の確認

「何してる人ですか？」で言葉が止まる
言おうとした説明が途中で散らばる
自分を一言で表せない



相手の記憶に役割が残らない

初対面の会話で、名乗りが曖昧になる理由

「説明」から考えるから、 名乗れなくなる。

- 仕事内容の詳細説明
- 経歴や活動の情報追加
- 長い自己紹介の構造

記憶の入口、欠落

一言ラベルの欠落 / 思考順序の逆転

記憶に残る「入口」が存在しない

「丁寧さ」という名の情報過多

発信の誤解

正確な説明への執着
肩書きで自分を示す
活動内容の全提示

構造の欠落

実績や経験の羅列
長い紹介＝丁寧
記憶される構造の不在

情報を増やすほど、印象は薄まる

記憶を惹きつける「一言タグ」

タグ = 記憶の入口

「〇〇の人」と言える短い表現

相手が一回で覚えられる言葉

肩書きや資格は不要

説明ではなく、印象のタグを渡す

「あのよね」と一瞬で繋がる

自己紹介の迷い → 会話の入口の完成

説明の負担 → 負担の軽減

テーマの混線 → テーマの整理

初対面の沈黙 → 会話の継続

自分の中から「一語」を掘り出す

- メモを一枚用意する
- 最近、誰かの役に立ったことを書く
- 昔の自分の「悩み」を記録する
- その人に伝えたいことを書く
- 「〇〇の人」で三案作る
- 一番言いやすい言葉を選ぶ

名乗りを整えるための設計図

タグ作成の確認手順 / 名乗りの整頓

言葉に詰まったときの参照 / 記憶タグの作り直し

自己紹介の起点となるチェックカード

言葉を置き、前進する

仮タグを一つ決める

会話で一度使ってみる

反応を見て言葉を調整する

止まったら再確認。言葉を絞れば、印象は残る。